

# 健康福祉常任委員会行政視察 実施報告書

令和5年5月17日～19日

5月17日(水) 岡山県倉敷市

認知症対策、チームオレンジについて

5月18日(木) 岡山県高梁市

子育て施策、ベビーファースト運動について

5月19日(金) 岡山県総社市

障がい者千五百人雇用事業について

三郷市議会 健康福祉常任委員会

# 岡山県倉敷市 健康長寿課 地域包括ケア推進室

## 認知症対策、チームオレンジについて

### 1. 倉敷市の高齢者の状況・将来推計

2040年度  
 総人口は減少し、高齢者人口は増加(高齢化率も上昇)、認知症高齢者も増加する見込み

区分	2020年度 (R2年度)	2025年度 (推計)	2040年度 (推計)
総人口(A)	481,646人	471,519人	443,733人
高齢者人口(B)	131,947人	140,186人	151,152人
後期高齢者人口(C)	68,373人	85,820人	85,030人
高齢化率(B/A)	27.4%	29.7%	34.1%
後期高齢化率(C/A)	14.2%	18.2%	19.2%
認知症高齢者 ※	18,551人	21,704人	27,643人

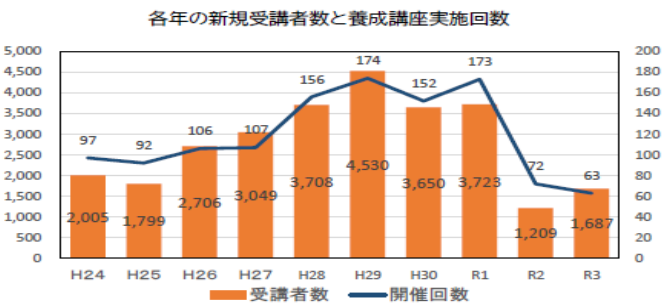
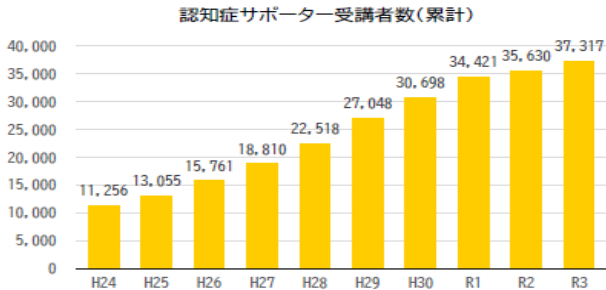
### 2. 認知症の人と共に生きる地域づくり(倉敷市モデル)

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように、「予防」「共生」「早期対応」の3つの観点から、認知症のかたと共に生きる地域づくりを推進する。

#### ① 認知症のことを知り、予防する (予防)

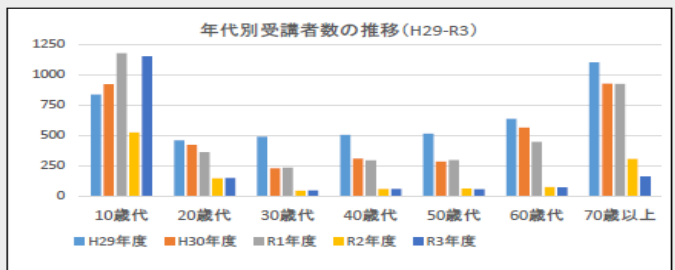
### 認知症サポーターの養成の推進 (充実・強化)

市民の方々に認知症のことを知っていただき、予防するとともに、認知症の方や家族を地域で支えられるよう地域での見守りを進めるために、高齢者支援センター等と連携し、認知症サポーターの養成を推進。



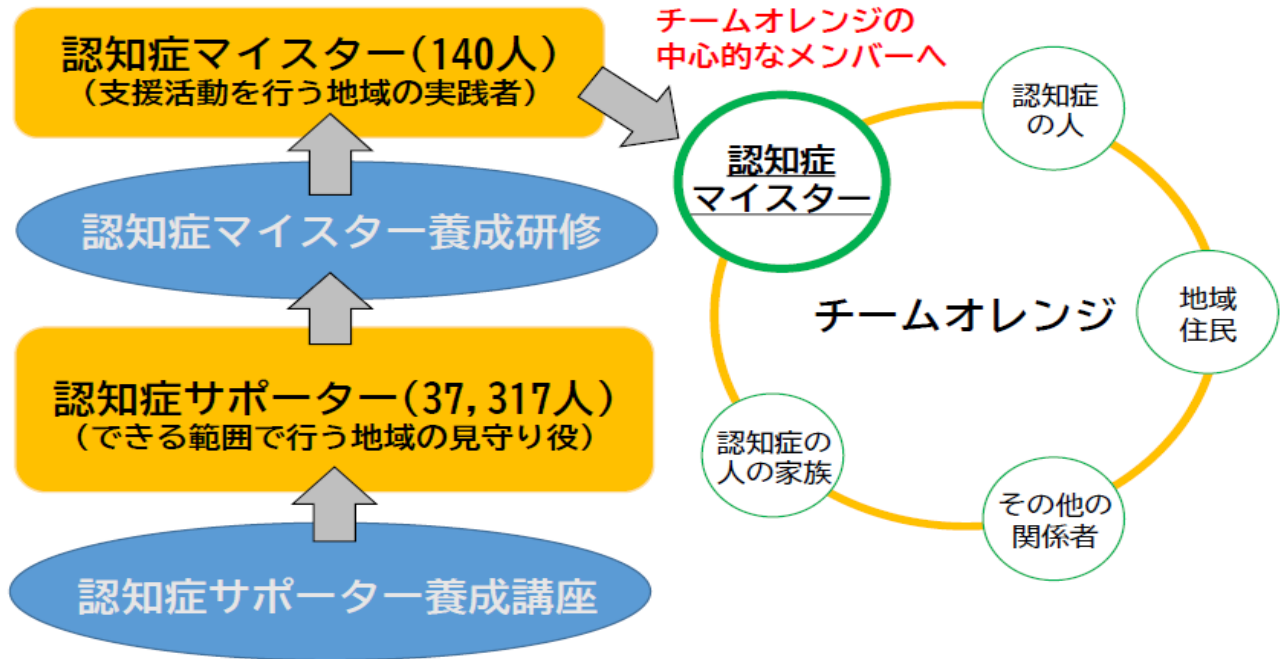
#### ～若い世代に向けた、認知症の理解促進・普及啓発～

○新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の集会所等での講座開催が難しい状態が続いた。  
 ○一方、学校との連携が進み、年代別の認知症サポーター養成者数では、10歳代はコロナ禍前に戻っている。  
 このほか、企業を対象とした認知症サポーター養成講座を開催している。(医療機関や金融機関、タクシー会社、保険会社、警察署など高齢者と関わる機会の多いところに働きかけている。)



## 認知症サポーターから認知症マイスター・チームオレンジ活動へ

認知症サポーター養成講座を受講した方が、地域で実際に支援活動を行う認知症マイスター養成研修を受講。認知症マイスターの地域に根ざした更なる活躍の場としてチームオレンジの整備を推進。



## ②認知症のかたと共に生きる地域をつくる (共生)

### 認知症カフェの推進 (認知症本人と家族の居場所)

#### 認知症カフェとは

認知症カフェは、認知症の方、家族、地域の方などが気軽に集まり交流する場。互いに情報交換等、交流により、家族など介護者の負担軽減にもつながる場。



#### 認知症カフェの役割・目的



認知症の方

交流の場、心理的な安定

家族介護者

情報交換、負担軽減

地域の方

認知症の理解を深める

専門職

学びの場、多職種連携

(令和5年3月末時点:市内23か所)

# 地域ケア会議の課題から・・・認知症マイスター制度誕生

## 目指す地域の姿

- ・ 認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けることができるまち
- ・ 認知症を隠さないでオープンにできる地域

## 課題

- ・ 認知症サポーター養成講座だけでは地域の担い手になるのは難しい。
- ・ 個別のケース会議では、認知症の人の地域での見守り体制について課題にあがることが多い。
- ・ 退院して自宅に帰りたいが、認知症があるために一部の人の反対で退院できない人がいる。（徘徊するのではないか、夜間はどのようにするか等）

- ・ 地域住民の中から、認知症を正しく伝えられる人を増やしていこう
- ・ 認知症に特化したボランティアを養成し、登録制にしていこう

## 認知症マイスター制度の誕生

## 認知症マイスターの養成

地域ケア会議において、平成27年度から実施していた認知症マイスター養成研修を発展させ、平成29年度から全市の事業として展開。また、認知症サポーターステップアップ講座に位置づけた。認知症マイスターの登録要件として、認知症サポーター養成講座受講後、認知症マイスター養成研修の受講（市主催）が必須。

### 養成人数

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
養成人数	6	45	38	9	28	0	0	14
	水島地区で養成スタート					コロナのため養成研修中止		
	倉敷市の事業として養成							

- ・ R2年度までに126名養成。R2年度末時点では111名が活動。
- ・ R4年度に新たに14名養成。総勢140名。



## 認知症マイスターの活動内容

「認知症マイスター」とは、認知症の理解を深め、「地域の実践者」として、実際の支援活動を行う地域のボランティア。

【具体的な活動】



### 認知症の方やご家族が安心して出かけられる場の立ち上げや運営

地域の認知症の方やそのご家族を継続して見守り、認知症の方ができる限り住み慣れた地域で生活を続けられるよう、**認知症カフェやサロン、チームオレンジの立ち上げ及び運営等を行う。**

### 認知症の方やご家族の話し相手・相談者

地域、認知症カフェやサロン、認知症の方の利用する介護事業所、認知症に関する教室等で、話し相手や相談者となり、認知症の方やご家族の安心につなげることができる。

### 地域の方への認知症の理解促進・普及啓発

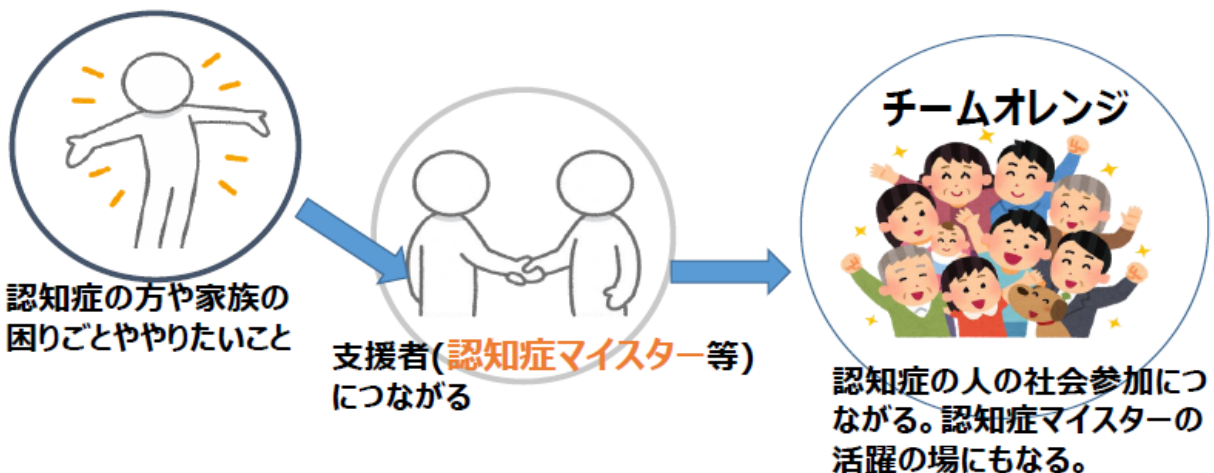
地域住民に対して認知症の特徴やその症状についての理解や認知症の方へのかかわり方を正しく普及していく。

### 専門職などへのつなぎ

認知症マイスターの居住する地域の住民、活動団体、サロン等において、認知症について不安な方やそのご家族がいれば、高齢者支援センターや地域の保健師に橋渡しをする。

## チームオレンジの整備

チームオレンジとは認知症の人やその家族が認知症マイスターと共に困りごとの解決や認知症の人のやりたいことを継続的に行う活動です。マイスターの養成、チームオレンジの整備に向けた取組みに力を入れています。



チームオレンジ三つの基本

- ①ステップアップ講座修了及び修了予定のマイスターでチームが組まれている。
- ②認知症の人もチームの一員として参加している。(認知症の人の社会参加)
- ③認知症の人と家族の困りごとややりたいことを早期から継続して支援ができる。

認知症当事者も地域を支える一員として活躍し、社会参加することを後押しするとともに、認知症マイスターの更なる活躍の場を整備する。

## 倉敷市のチームオレンジ（令和5年3月末現在 2チーム）

【ちょこっと亭】・・・認知症本人の「細かい作業が好き」という思い、家族の「生活するなかでの大変さを聞いてほしい」という思いがありました。認知症地域支援推進員が地域のサポーター等とのマッチングを行いました。

現在は認知症当事者とそのご家族が2組参加し、活動。ペーパークラフトや植物の栽培等、季節に合わせて様々なことをされています。

【ぼれぼれハウス】・・・認知症のかたが不定期に集い、手芸や茶話を楽しんだり、介護者の会が開かれています。



ぼれぼれハウスの外観

## チームオレンジのもたらすもの

★認知症の方にとって、支援ニーズ（やりたいことや困っていること）を満たす社会参加の場となる。また、そのことにより、心理的な安定につながる。

★家族介護者にとって、本人の支援ニーズを満たす場、情報交換ができる場となり、精神的な負担感軽減につながる。

★認知症サポーター（認知症マイスター）にとって、実践的な活動の場となることにより、認知症バリアフリーのまちづくり推進につながる。

★地域住民にとって、認知症の方がいきいきと活躍している姿を目にすることが、認知症観の転換につながる。

## チームオレンジ 今後の展望

チームオレンジは、認知症の方とそのご家族が安心して過ごせる居場所であり、やりたいことができる・想いが叶う場

でも、それだけじゃない・・・。今後の展望は・・・。

チームオレンジで  
作製した作品の販売  
※市内企業の協力を得る予定



チームオレンジ  
メンバーとアルツ  
ハイマー月間の  
展示



- ・認知症の方の社会参加活動につながる
- ・認知症の方の発信支援につながる

地域の方にとって



- ・認知症のイメージの転換
- ・住民一人一人の理解により、認知症の方が安心して暮らせる地域になる

当事者にとって



- ・活動の意味付けができる
- ・自信が生まれる
- ・役割の創出

### ③認知症のかたに早期に対応し、適切な支援を提供する（早期対応）

- ・認知症初期集中支援チームによる支援
- ・認知症身元不明高齢者一時保護事業 など



## 【主な質疑】

質問：認知症カフェについて、認知症ではない高齢者も利用されると思うが、認知症のかたと、そうでないかたと、どのような割合か。

回答：カフェごとに異なると思うが、当事者の方が少ない印象である。認知症当事者が5、6人いらっしゃるカフェもあるが、1人もしくはゼロ人というカフェもあると思う。

質問：認知症カフェは市内に23か所あり、毎日市内のどこかで開かれるように調整しているとのことだが、それぞれ、どのような団体が運営しているのか。

回答：カフェにおいて専門職が相談に乗るという体制をとっているため、専門職がいる高齢者支援センターや施設、医療機関の運営がほとんどであるが、認知症マイスターのかたが開催しているところもある。マイスターはかなり勉強を深められているため、専門職と同等の相談に乗ることができるということで運営されている。

質問：認知症マイスターとなった方達が、色々な役割等に就くにあたって、配置・コーディネートをする中核機関のようなものはあるのか。

回答：そういった機関はないが、昨年度から、認知症マイスターとなった方々をどこかに繋げられるように配慮している。今までは、マイスターになった後、地域で自主的にボランティアや活動をされているかたが多かったのだが、活動に繋がっていないマイスターもおられたため、たとえば研修会や講演会にお手伝いに来ていただくというようなかたちで、どこかに確実に繋ぎができるように、職員、認知症地域支援推進員がコーディネートしている。

質問：認知症サポーターについて、10代の方々が養成講座を受けているとのことだが、その影響は何かあるか。

回答：一例として、認知症サポーター養成講座が開かれた小学校の児童たちが、道に倒れていた、認知症が疑われる高齢者を発見し、先生に伝え、無事保護に至ったということがあった。講座を受けたことでそのような行動につながったのではないかと、教師たちが喜んでいてという話は伺ったことがある。子どもたちは講座の話を素直に聞いているので、自分に何ができるか等、考える機会になっているのではないかと思う。

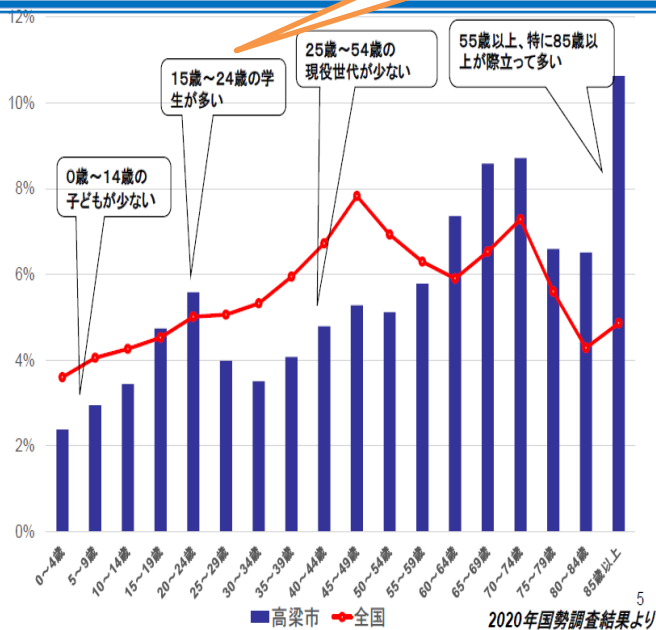


子育て施策、ベビーファースト運動について

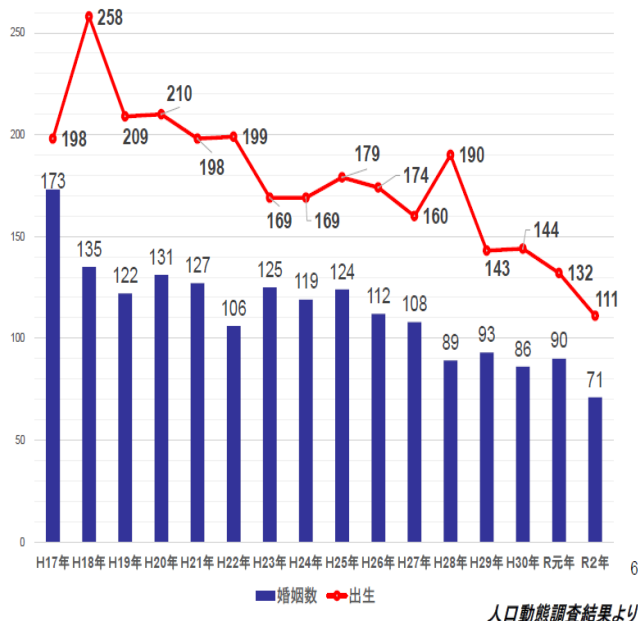
1. 高梁市の現状

高梁市の人口動態

市内に大学が1校ある

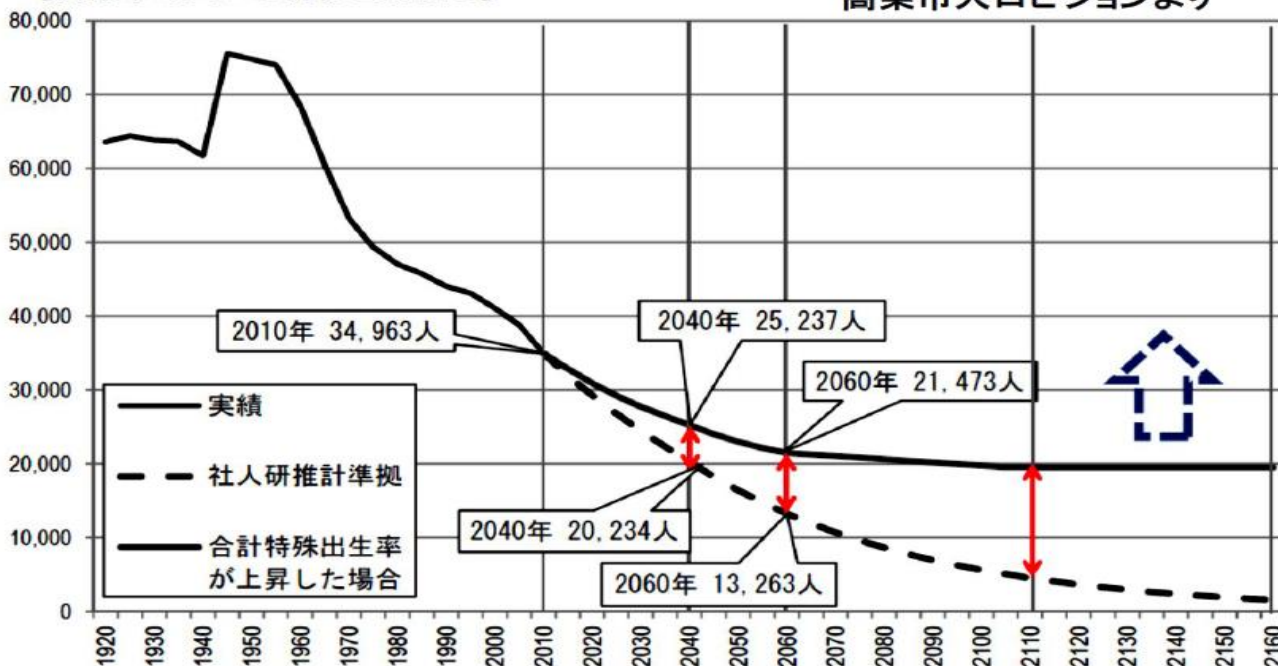


高梁市の婚姻数、出生数



【高梁市の人口の推移と見通し】

高梁市人口ビジョンより



出典)2010年までの人口は「国勢調査」  
合計特殊出生率が岡山県の推計と同程度に向上し、2020年に社会増減が均衡するとして推計

## 2. 高梁市の子育て施策

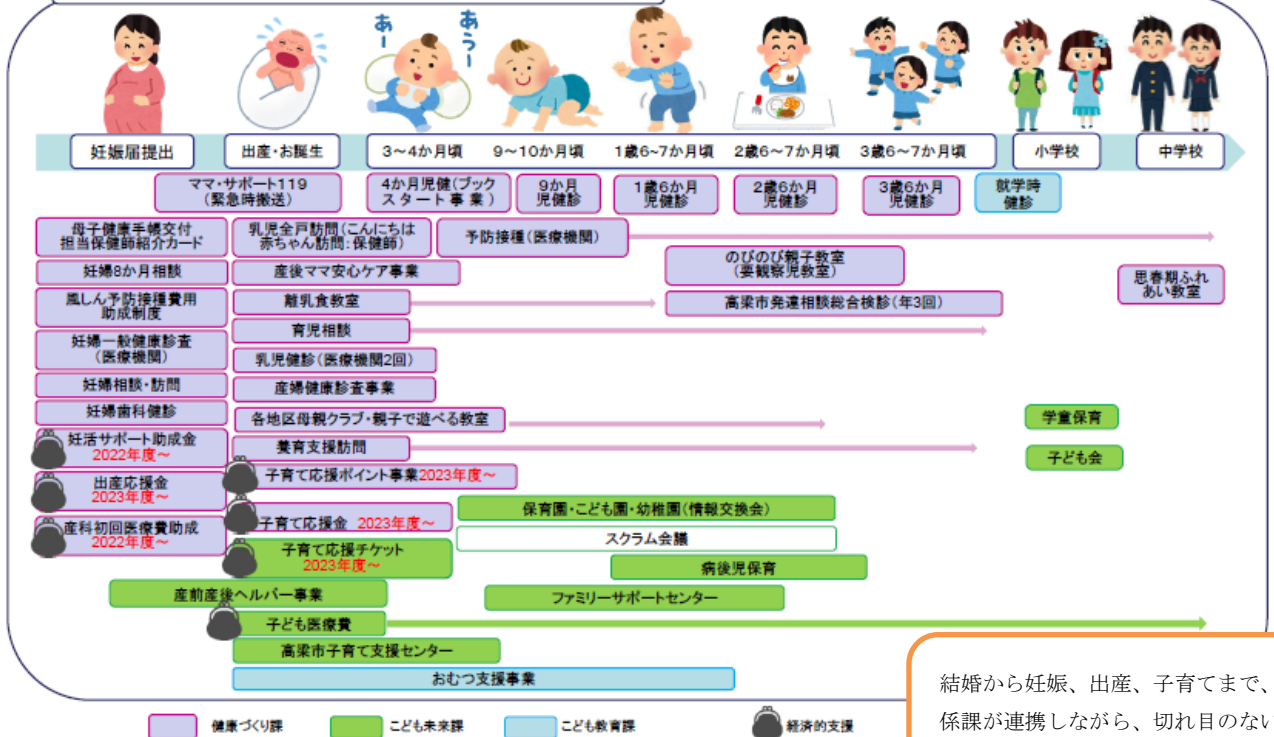
地区担当の保健師が、きめ細やかにお子さんの成長を支援し、対応している

### 高梁市の子育て支援施策

#### 高梁市子育て世代包括支援センター事業(たかはし版ネウボラ) 高梁市は妊娠・出産・子育て期を切れ目なくサポート

☆妊娠・出産・子育て期の様々な不安や疑問相談に対応する総合相談窓口です。利用する方のニーズに合わせて、その時点での最善の選択ができるよう専門職員(保健師等)がサポートさせていただきます。お気軽にご相談ください。 ※ネウボラとはフィンランド語で「アドバイスの場」を意味します

地区担当保健師がお子さん一人ひとりの成長を支援しています



結婚から妊娠、出産、子育てまで、関係課が連携しながら、切れ目のない支援を行っている

### 高梁市の子育て支援施策(特色ある事業)

#### 子育て支援施策の充実

人口流出の激しい若者・子育て世代の市内定住を図り、少子化に歯止めをかけるため、各種支援制度を充実。

1. 結婚から育児までの相談しやすい窓口(ママサポ)の設置
2. 妊婦歯科検診(妊娠中の歯科検診1回無料の受診券交付補助)
3. 医療保険対象外の不妊・不育治療費の助成
4. ママ・サポート119(妊婦事前登録制度)で妊婦の緊急時をサポート
5. 医療機関、助産師から母乳ケアや授乳指導・育児相談等(産後ママ安心ケア事業)
6. 「家事や育児に困るママ」に産前産後ヘルパーを派遣
7. 子育てを積極的に応援する企業等の支援(パパ・ママ・子育て応援企業奨励金)
8. 子ども医療費の無料化(18歳までの保険診療自己負担分全額補助)
9. 病後児保育、預かり保育・延長保育、学童保育、ファミリーサポート事業等で共働きの子育て世帯をサポート
10. 高校生のバス通学支援(定期券購入費の1/2助成)
11. 保育士・医学生・看護師・介護福祉士奨学金貸付(資格取得後、市内勤務で返還免除)

保健師等が対応

補助金額に上限なし。令和5年度予算 8,500千円(令和4年度対象者 105名)

## ※【ママ・サポート119について】

経緯・・・平成25年、市内に出産できる医療施設がなくなったことにより、出産時に県南医療機関まで間に合うかとの不安の声が増え、不安軽減のために開始。平成27年1月1日運用開始。

登録対象者・・・①高梁市に住民登録があるかた

②里帰り先が高梁市のかた

③高梁市内事業所へお勤めのかた

救急搬送の要件・・・陣痛や破水などの兆候がある、腹部の痛みや出血がある、腹部に強い張りがある等の症状があり、自家用車、タクシー等の搬送手段がない場合（深夜帯、家族が不在の時など）

手順・・・<事前登録～搬送まで>

市役所健康づくり課、各地域局で受付後、消防署、本人へ写しを渡す

<救急搬送時>

①妊婦よりかかりつけ産科医療機関に電話連絡（救急搬送の必要の有無を確認）

②救急搬送の必要があれば、妊婦や家族から高梁市消防署へ119番通報し、「ママ・サポート119」要請する。

<救急搬送後>

③消防署より健康づくり課へママサポ119搬送報告

④健康づくり課にて登録台帳より削除（搬送をせず予定日より1か月経過後削除）

市内のほとんどの妊婦が登録している。  
登録件数が減っているのは、市内の出生者数自体が伸び悩んでいるためだと思われる。

	登録件数	救急搬送数
開始～平成27年度	200	9
平成28年度	142	7
平成29年度	161	15
平成30年度	129	9
令和元年度	118	7※うち車内分娩1
令和2年度	130	9※うち車内分娩1
令和3年度	112	6※うち車内分娩1
令和4年度	92	6
令和5年度(5/10現在)	9	3
合計	1093	68

### 3. ベビーファースト運動

子育て支援施策は充実しているが  
周知できていないのでは



令和4年9月26日に参画を表明。  
県内初。

ベビーファースト運動への参画



わたしたちの活動宣言  
赤ちゃんとお母さんお父さんのために、私ができること。

子育てするなら高梁市  
高梁市長 近藤隆則

【ベビーファースト運動とは】…公益財団法人日本青年会議所が2021年度から全国展開している運動。この運動に参画する行政や企業が、赤ちゃんや妊産婦(夫)に対する「やさしい活動宣言」を行い、具体的アクションを推進していくことで、子育て世代が子どもを産み育てたくなる社会を実現していこうというものです。

広域での子育て施策へと展開

令和2年国勢調査にて5年前と比較し、県内で最も人口減少率が高かった美咲町(▲9.6%)、高梁市(▲9.4%)、吉備中央町(▲8.9%)の3市町共同で子育て支援を実施



美咲町、吉備中央町ベビーファースト宣言  
3市町の連携発表 令和5年2月22日

令和5年度予定事業

・公立図書館連携事業  
各図書館の機能充実や子どもの読書活動推進を図る。



・こどもスタンプラリー事業  
子どもの遊び場やお出かけスポットを巡るスタンプラリーを開催。



# 令和5年度子育て支援事業(新規)

## 子育て応援チケットの配布事業

子育て支援事業の周知及び普及の促進、また育児の負担軽減を図るため6種類の子育て支援事業が1回無料(または低額)になるチケットを配布

## 出産・子育て応援ギフト支給事業

妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援を行うとともに、経済支援もあわせて一体的に進めるため、妊娠届出や出生届出を行った妊産婦等に対して応援金を支給する。

【妊娠届出後：50千円/人、出生届出後：100千円/人】

※出生届出後の100千円うち50千円のポイント支給が高梁市独自の上乗せ支給分

## 出産・子育て応援事業(おむつ支援事業)

保護者の経済的負担や登園準備に係る手間の軽減とおむつの管理を行う保育士等の負担の軽減を図るため、保育所等で紙おむつを支給する。また、1,2歳の未就園児等に対しておむつ代相当額を支援する。

## おむつの準備がいりません

高梁市出産・子育て応援事業 令和5年6月スタート  
(保育所等おむつ支援)

仕事と子育ての両立に毎日頑張っているパパママを応援するため、園で使用される紙おむつの支援を行います。



高梁市内の保育園、こども園に通う0歳児から2歳児クラスの園児に必要な紙おむつを、園で購入準備することで、紙おむつの事前購入や名前書きの手間などの保護者負担を軽減します。

- ・おむつの事前購入や記名が不要
- ・登園時のおむつの準備や荷物軽減
- ・おむつの購入費用の負担軽減

忙しい登園準備が少しでも楽になることで、子どもと触れ合う時間を増やし、子育て中のパパママを応援します。



- 高梁市内の公立園、私立園、認可外保育所が対象です。
- 未就園児や市外の保育所等へ通う園児については、在宅保育等の期間に応じた支援補助金を支給します。

## 家庭保育を応援します

高梁市出産・子育て応援事業 令和5年6月スタート  
(未就園児おむつ支援)

ご家庭等で子育てに毎日頑張っているパパママを応援するため、昼間使用されるおむつ代相当の支援を行います。



高梁市内の保育園・こども園等に在籍していない1歳から満3歳までの児童を養育する保護者に補助金を支給することで、保護者の経済的負担を軽減します。

園に通うのと同様の支援を行うことにより、それぞれのスタイルで子育て中のパパママを応援します。

### 補助金の額

<年度ごとに、未就園の期間に応じて支給します。>

- ① 1歳児 月額 2,000円
- ② 2歳児 月額 1,000円





## 子育て応援チケットの利用について

**使用期限**  
利用するサービスの対象年齢または3歳になる年度末までのいずれか早い方まで

子育て応援チケットは、各種子育て支援サービス(以下の6事業)を1回分無料(※一部自己負担あり)で体験していただくことで、子育てサービスを知っていただき、子育ての負担軽減に繋がることが目的としています。この機会にぜひご利用ください。

※各事業の詳細はQRコードからご確認ください。※歯科保健指導以外の事業は事前登録が必要です。

<b>産前産後ヘルパー派遣事業</b>	<b>【サービス内容】</b> 食事の準備、掃除、洗濯、買い物代行といった家事や育児を一緒に手伝います。 <b>【対象者】</b> 産前産後1年以内で、育児または家事が困難であり、かつ家族等の支援を受けることができない産婦。 <b>【利用可能時間・料金】</b> 1時間500円 8時30分から17時の間の4時間以内 <※土日祝、年末年始(12/29~1/3)は利用できません> 利用料金の支払い時にチケットをお渡しく下さい。※チケットは出産後にご利用いただけます。
<b>産後ママ安心ケア事業</b>	<b>【サービス内容】</b> 産後のお母さんとお子さんのために、医療機関や助産院の助産師等から、母乳ケアや授乳指導・育児相談が受けられます。 <b>宿泊型ケア</b> ・・・施設に宿泊して休養するとともに、心身のケアや育児サポート等のサービスを受けられます。 <b>日帰り型ケア</b> ・・・日帰りで心身のケアや育児サポート等のサービスを受けられます。 <b>母乳育児相談</b> ・・・1時間程度で母乳のケアや授乳方法の指導等が受けられます。 <b>【対象者】</b> 産後12か月以内の母子 <b>【利用料金等】</b> 会計時にチケットと自己負担分を併せてお支払いください。 ※施設によって金額が異なります。詳しくは市HPを確認してください。 ※利用料金から補助を除いた金額のうち、5,000円までのチケットにより無料になります。
<b>ファミリーサポートセンター事業</b>	<b>【サービス内容】</b> 「援助を受けたい人」と「行きたい人」が会員となり、パパ・ママが病気や残業、休日出勤や自分のフレキシブルなどで「困った、都合がつかない」といった時に、助け合う会員組織です。 <b>【対象者】</b> 生後6か月以上10歳未満の子どもの保護者 <b>【利用可能時間・料金】</b> 平日(午前7時から午後7時まで)・・・1時間 700円 上記の時間以外及び土日祝・年末年始(12/29~1/3)・・・1時間 800円 軽度の病児保育・・・1時間 900円

※軽度の病児とは、医療機関の受診後、発熱がなく、機嫌よく過ごせる状態で、提供会員の承認が得られた場合に限りです。※登録の1時間までは、1時間以内の利用であっても1時間分発生します。1時間以上利用する場合は30分以内は上記の半額とし、30分を超え1時間以内までは1時間とみなします。  
 ※交通費、食費(ミルク等)、おむつ代等については、依頼会員が用意するか実費を支払っていただきます。  
 ※報酬の支払は、依頼会員が提供会員に直接支払います。支払い時にチケットをお渡しく下さい。

# 令和5年度子育て支援事業(拡充)

## 産前産後ヘルパー事業

核家族などで周りに支援してくれる人がいない方を対象に、家事や育児の支援をするヘルパーを派遣する

**利用期間の拡充** 出産後6か月以内 → 母子手帳後交付後から出産後1年以内

## パパ・ママ・子育て応援企業奨励金事業

市内企業に登録を行ってもらい、子育て支援に対する取り組みに応じて奨励金を支給することで社会全体で子育てを応援する気運を高める

**対象範囲の拡大** 産後パパ育休と市民向けセミナー開催も奨励金の対象

## 一時預かり事業(一般型)事業

保護者の体調不良や学校行事、その他子育てのリフレッシュ等、家庭での保育が難しいときに、一時的に子どもを保育施設等で預かることにより、保護者の子育てに関する負担軽減を図る

**対象年齢の引き下げ** 1歳6か月から就学前 → 生後8か月から就学前

**低所得者、要保護児童の世帯への利用者負担額の助成**

## 産後ママ安心ケア事業

医療機関や助産院の助産師等から、母乳ケアや授乳指導・育児相談等を受けることにより、産後のお母さんの不安軽減と子どもの健やかな成長を図る

**利用医療機関の拡大** 3医療機関 → 5医療機関

## 子育て応援企業になりませんか！

### ワーク・ライフ・バランス推進事業のご案内



#### ワーク・ライフ・バランスとは

「仕事と生活の調和」という意味で、働きながら私生活も充実させられるように職場や社会環境を整えることをいいます。

高梁市では、仕事と子育ての両立を目指して、「パパ・ママ・子育て応援企業登録」と「パパ・ママ・子育て応援企業奨励金」の2つの取り組みを展開しています。

小さな取り組みも、継続することで子育て支援につながります。

従業員の子育てや、地域の子育て支援に企業の皆様のご協力をお待ちしています。

パパ・ママ・子育て応援企業 登録事業者 (登録期：2023.3.24 現在)		
滝口建設工業(株)	(株)佐野組	(株)備中測量設計コンサルタント
備中登記測量	(福)グリーンビル順正	(有)竹谷急送
川上電工協業組合	大森精工(有)	備北信用金庫
中村建設(株)	(医)室仁会まつらクリニック	(福)美真会
(株)共栄商事	(有)高木建設	NPO法人Color
(株)田中紙店	(株)SIGNAL BLUE	NPO法人発達支援ネットワークつむぎ
(株)あさだ	福海建設(株)	(株)メディケート
興成開発(株)	住友電工協業組合(株)	マイコー株式会社
高梁市図書館指定管理者カルデュア・コンビニエンス・クラブ株式会社		



子育てするなら高梁市

高梁市はベビーファースト運動に参加しています



## パパ・ママ・子育て応援企業の登録

従業員の子育てや地域における子育てを応援する企業を「高梁市パパ・ママ・子育て応援企業」として市に登録します。

登録後は、登録証と応援企業登録表示ステッカーを交付し、市のホームページ等で紹介します。

**企業PRやイメージアップ ⇒ 優秀な人材の確保に**



**登録方法** 子育てを応援するために企業が取り組んでいる内容を「宣言」という形にまとめて、提出してください。

## 子育て応援の取組に奨励金を支給します！

パパ・ママ・子育て応援企業が下記のいずれかの取り組みを行うと1件につき10万円<sup>※</sup>の奨励金を交付します。(一事業主 合計10回まで)

- 男性の育児休業(10日以上)の取得
- 出産・育児等を理由に退職した労働者の再雇用
- ワーク・ライフ・バランスをテーマにした研修会を開催

※研修会開催の場合は、経費総額の半額が10万円のうち、どちらか低い金額を交付します。

※令和4年4月から女性の育児休業取得奨励金は廃止しました。

### 支給対象

- ① 高梁市内に主たる事業所を有すること。
- ② 常時雇用する労働者が300人以下であること。
- ③ 雇用保険の適用事業の事業主であること。
- ④ 育児休業に関する事項を就業規則・労働規約等に規定していること。
- ⑤ 国もしくは地方公共団体、または特定独立法人でないこと。
- ⑥ 市税の滞納がないこと。
- ⑦ 「パパ・ママ・子育て応援企業」の登録をしていること。

<その他申請についての条件等、詳細はお問合わせください。>

(お問い合わせ先)

高梁市 健康福祉部 こども未来課

〒716-8501 高梁市松原通 2043 番地

TEL: (0866)21-2666 / FAX: (0866)23-1433

Mail: kodomo@city.takahashi.lg.jp

高梁市ホームページ

検索 パパ・ママ・子育て応援企業



## 【主な質疑】

質問:令和5年度予定事業の「こどもスタンプラリー事業」について、スタンプラリーを達成した結果の景品、お楽しみなど、どのような事業計画になっているのか。

回答:まだ他の町との調整段階だが、子供向けのスタンプラリーなので、子どもが喜ぶようなものや、各市町の特産品等を商品にしようと考えている。

質問:「ママ・サポート 119」について、同じ日に搬送要請があった場合、救急体制は十分確立されているのか。また、陣痛タクシーは利用していないとのことだが、その理由は。

回答:ママ・サポート 119 用に、救急車を 1 台完備してもらっているため、今のところ特に問題なく対応、運営できている。また、年に 1 回消防署と連絡会議をしており、何かあればそこで話し合う体制になっている。なお、市内にタクシー事業所はあるが、夜間等の職員配置ができず、真夜中や早朝には対応しきれない状況で、タクシー会社に委託することができない。市内全地域をカバーするという点でも、救急車の方が期待できるという声が多かったため、タクシーではなく救急車の方で調整している。

質問:保育士・医学生・看護師・介護福祉士奨学金貸付けについて、限度額はあるのか。また、資格取得後、市内勤務で返還免除とあるが、その期間は。

回答:保育士は月額上限4万4千円、医学生は月額上限20万円、看護師等は月額上限5万円である。貸付年数は、学校等の規定する修業年限(最大4年)を想定している。保育士の奨学金については、貸付を受けた期間の1.5倍に相当する年数を、市内で保育士等として勤務した場合、免除となる。(2年貸付→3年勤務、3年貸付→4年半勤務)。



1. 総社市について

# 総社市総合計画「市民に寄り添う」

第2次総社市 総合計画 後期基本計画(令和3年度～7年度)

目指す都市像

岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社  
～全国屈指の福祉文化先駆都市～

目標人口  
70,500人

3つの基本理念

- ・困っている仲間を支援しよう！
- ・子どもと仲間を増やそう！
- ・仲間と力を合わせよう！

目指すべきまちの在り方

あなたにとって一番やさしいまち そうじゃ

- ・困っている人に手を差しのべる市民(相互扶助)
- ・つながる力を発揮する地域(地域一元化)
- ・徹底的に寄り添う行政(行政一元化)

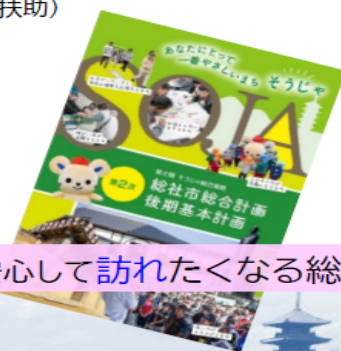
5つの基本目標

だれもが安心して住みたくなる総社

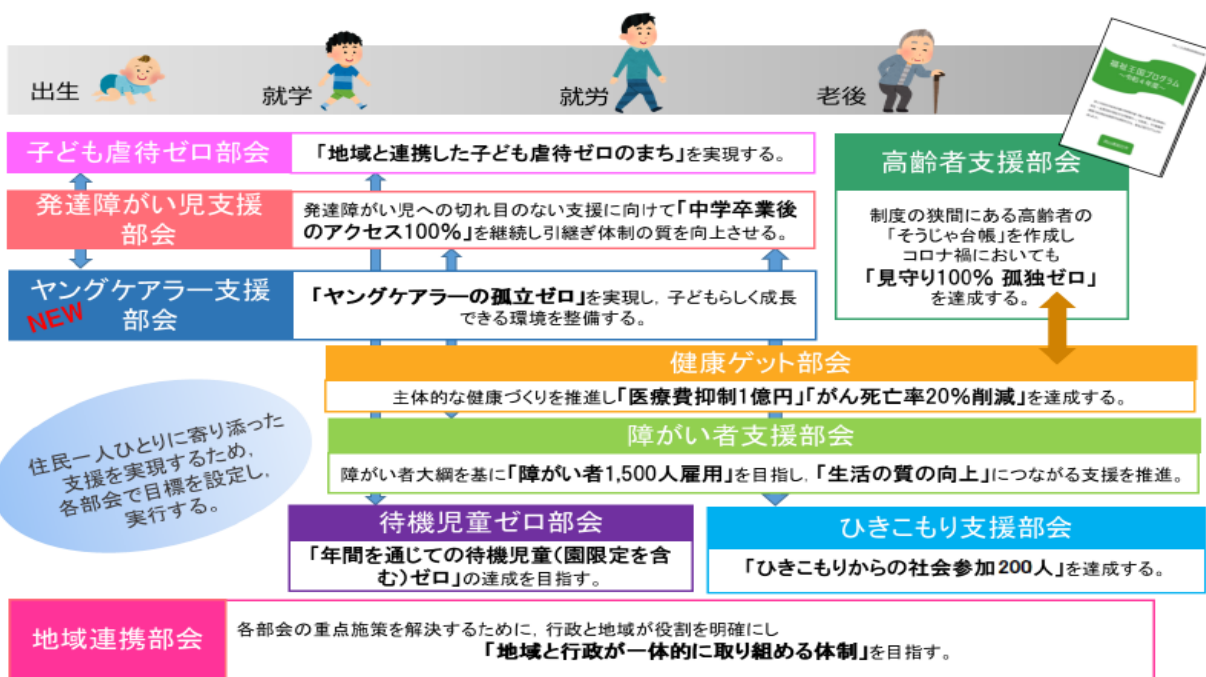
だれもが安心して働き  
学び  
集い  
たくなる総社

だれもが安心して訪れたくなる総社

周知のため、転入者に総合計画の概要版を配っているとのこと



# 総社市流の「福祉王国プログラム」





## 2. 総社市障がい者千五百人雇用について

### 総社市障がい者千五百人雇用のあゆみ

年月	あゆみ
H20年9月	リーマンショックにおける障がい者の雇用状況に着目
H22年12月	新設の県立支援学校の設立地が隣接市の倉敷市に決定
H23年4月	「障がい者千人雇用」を開始(27年度末までの5か年計画)
H23年7月	「就労支援ルーム」の設置(埼玉県志木市に次ぎ2番目)
H23年10月	総社商工会議所と包括協定を締結
H23年12月	「障がい者千人雇用推進条例」を制定
H24年1月	市主催の障がい者就職説明会を開催
H24年4月	「障がい者千人雇用センター」を設置
H25年4月	千人雇用をライフステージ支援として位置付け
H26年6月	「就労移行支援金制度」の創設
H29年5月	「障がい者千人雇用」事業による就労者1,000人達成
H29年9月	「障がい者千五百人雇用」事業として再スタート

※「就労支援ルーム」はハローワーク内、別室に設置

### 人口が増加する奇跡のまち



障がい者雇用事業を開始した H23 年から、人口が増えています

当初は「千人雇用」が目標だったが、H29年5月に達成されたため、「千五百人雇用」を新たな目標としました

### 障がい者千五百人雇用事業の体制

障がいのある方が働き、生きがいを感じながら安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指す。



障がい者千五百人雇用センター 4名  
センター長、雇用ワーカー 2名、臨時職員

千人達成から  
千五百人を新たな目標に

就労者数 1,289名  
(令和5年4月1日現在)



ハローワーク総社 6名  
就職支援ナビゲーター 3名、相談員 1名、統括官 2名  
※HW内へ職員2名も常駐(障がい者以外もサポート)



総社市役所 5名  
部長、課長、係長、主任、自立支援推進員

総社市の社会福祉協議会に設置

# そ 総社市障がい者千五百人雇用の拠点

— 障がい者と企業の架け橋 —

## 千五百人雇用センター



障がいのある方が地域で生き生きと働き続けられるようサポートしています。

千五百人雇用センター【総社市総合福祉センター内】  
Tel:0866-92-8379 E-mail:sennin-koyo@sojasyakyo.or.jp



千五百人雇用センターは、障がい者に雇用のマッチングから生活の相談までマンツーマンでサポートを行うとともに、企業など就労先へのアフターケアも担当しています。



# そ HWとの協働「福祉から就労へ」

平成23年7月より、ハローワーク総社の2階に「就労支援ルーム」を設置「福祉から就労」に向けてワンストップで付き添い型の綿密な支援を実施

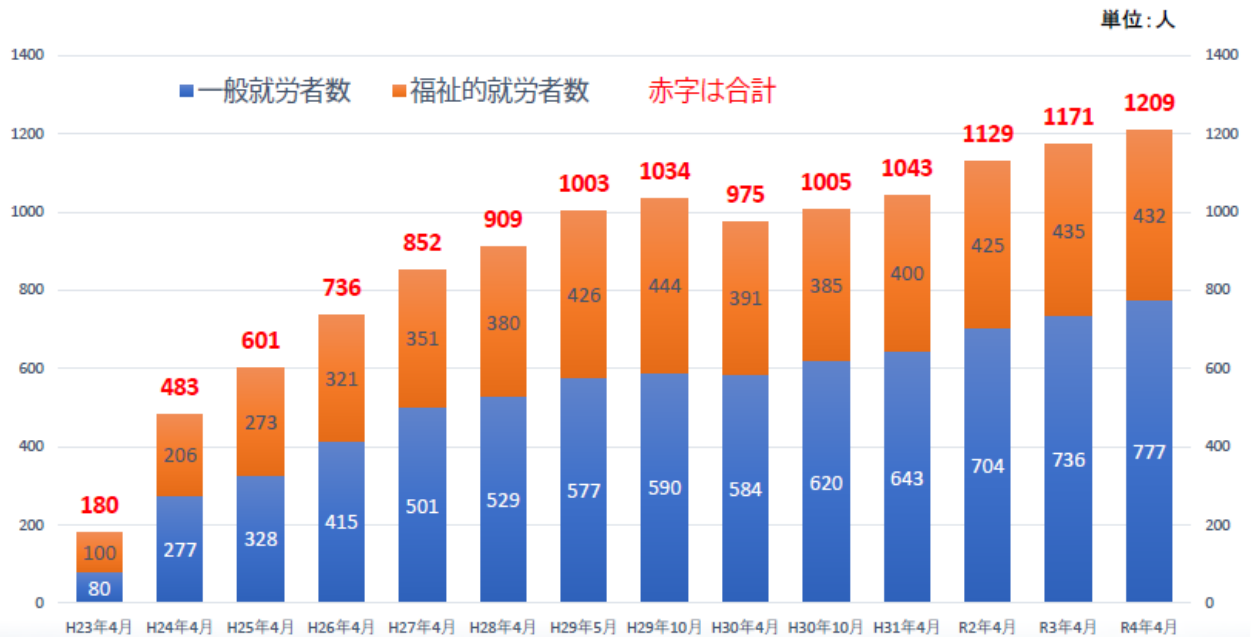


ハローワーク総社「就労支援ルーム」支援風景



就労支援ルームを通じて障がい者を雇用した建設会社

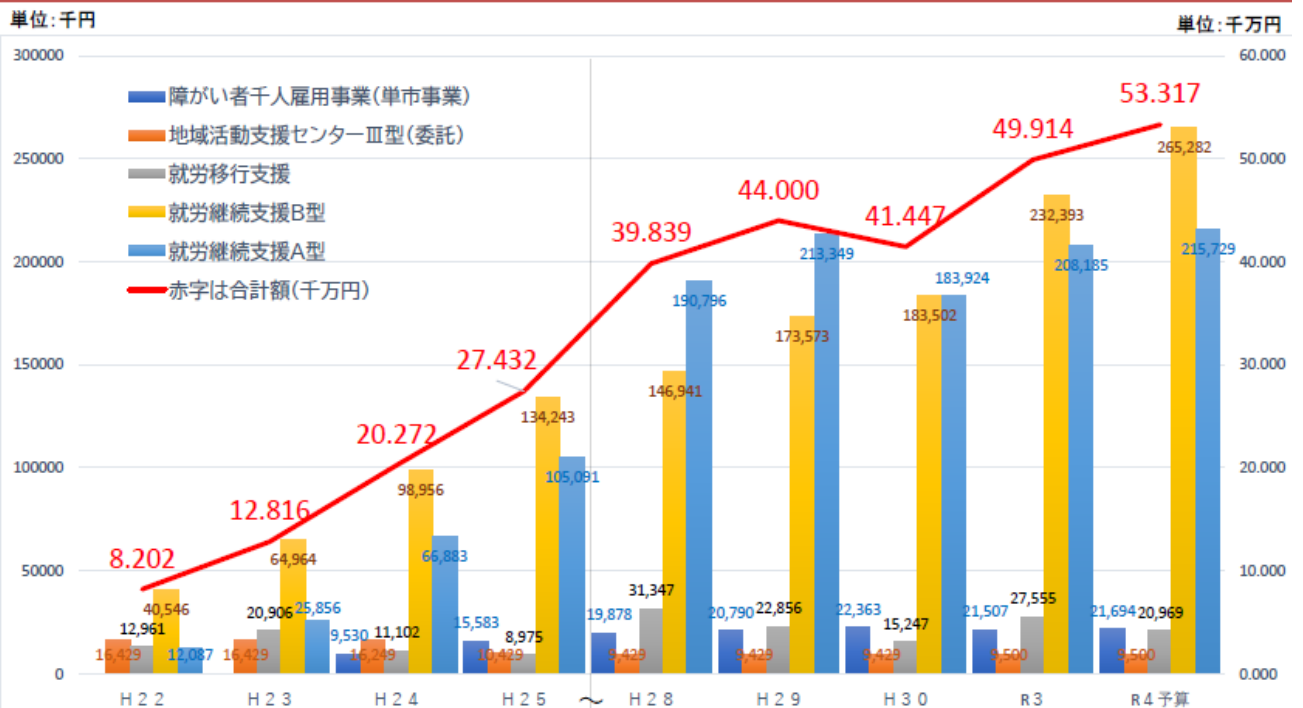
# 障害者雇用の就労者数推移



## 【カウントの基準】

- ① 総社市内の事業所において就労している障がい者
- ② 総社市外の事業所において就労している総社市在住の障がい者
- ③ 千五百人雇用センターを通じて就労するなど総社市の取組に基づき就労している障がい者

# 障害者雇用に係る経費の推移



※ 単市事業以外については市の負担額は4分の1

事業所名 (A型)	定員	事業内容
NPO法人のぞみ	20	フルーツキャップ折り、自動車部品加工作業 ラスク、パン等の製造販売(焼きたてパン工房ニコニコ堂)
一般社団法人 岡山障害者地域生活支援センター グリーンファーム	20	ミニトマト、アスパラガス、エンドウなど野菜作り マンゴー作り
NPO法人アグリ.エカロー・星	20	自動車部品バリ取り、ポスティング作業
一般社団法人 ライフネット和光 ジョブサポートクローバー	15	野菜・竹炭作りなど
NPO法人 UMECドリーム	20	衣料の加工、出荷作業など
事業所名 (B型)	定員	事業内容
NPO法人れんげ福祉会 ワークセンターそうじゃ	20	軍手の結束、花苗や果樹の栽培販売、EMボカシの製造
社会福祉法人金曜会 わくわくハンド・ベル	24	豆腐・きなこの製造販売、野菜の生産販売 都市公園の清掃作業
社会福祉法人三穂の園 サンガーデン吉備路	10	ガソリンスタンド業務(フルサービス)
社会福祉法人吉備路の会 多機能型事業所 みぞくち	15	都市公園の清掃作業、フルーツネット結束梱包作業
社会福祉法人超寿会 サポートセンター はるかぜ	15	グループ内施設の清掃作業、野菜作り、衣類梱包
NPO法人あゆみの会 ファインビープルあゆみ	20	自動車部品加工作業、クッキーの製造販売
社会福祉法人クムレ やさい畑クムレ	20	農作業、野菜の加工
NPO法人ラ・ルーチェ「絆緑」がじゅまる	20	ハンドメイド製品製作、パソコン作業、内職作業
特定非営利活動法人リンク まーる	20	コーヒー豆焙煎・販売、小物製品製作
社会福祉法人千寿福祉会多機能型事業所 そうじゃ晴々	10	洗濯作業、内職作業
かけはし	20	コピー機のトナーの納品、リサイクル作業
株式会社あい 総社中央作業所あっぱ	20	さをり織り、さをり織りによる商品作製

障がい者雇用事業を始める前は1つもなかったA型、B型事業所が、現在はここまで増えました。

## も 障がい者が主役のまちづくり

### ▶ 障がい者向けの就職面接会の実施



市が主催となり、ハローワーク総社等との共催により面接会を実施

### ▶ 広報活動により障がい者の理解を深める



市の広報紙「広報そうじゃ」表紙・特集など障がい者雇用をPR

### ▶ 障がい者が笑顔で働く



総社市役所を有効活用し、カフェを運営  
市内飲食店からお弁当の委託販売

### ▶ 福祉的就労から一般就労を応援

福祉的就労から一般就労へ移行し6ヶ月以上経過した方に**就労支援金10万円**  
市から就労と定着を応援

※企業ではなく、就労移行した障がい者ご本人に支援

# 🍁 障がい者千五百人雇用が目指すもの

## <事業開始時の目的>

障がいのある方が働き、生きがいを感じながら安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指す。

## <事業を通じて見えてきたもの①>

障がいのある方の家族・親族の自己実現と新たな障がい者支援の輪が市内の経済活動を牽引し、まちを元気に。人口増加にも寄与。

## <事業を通じて見えてきたもの②>

障がい者が戦力となり、市民を守る役割を担う。

## <これからの目標>

千五百人雇用を目指しながら、働くことができない障がい者にさらなる支援

## 【主な質疑】

質問:障がい者千五百人雇用センターについて、登録者数は何名か。

回答:現在の登録者数は675名である。また、相談対応件数は1,038件だが、途中で解除したかたや、登録までは至っていないケース、遠方からの相談なども含まれている。

質問:職場実習等の支援は行っているか。また、年間何件ほどか。

回答:直近の令和4年の状況では、42件の職場実習の支援を行っている。なお、一般就労だけではなく、A型事業所などの就労に対する支援も行っており、そのかたの特性に合わせて事業所を選び、実習に同行し、その後の企業との打ち合わせなども行い、仕事に適しているかを含め、支援やアフターフォローを行っている。

質問:草むしりなど、シルバー人材センターと、仕事がかぶる部分が出てくるのではないかと思うが、仕事を取り合うような状況はあるのか。

回答:市長から、障がい者だけでなく、高齢者雇用も特化してやっていこうという話が出ている。

国のモデル事業を受けて、高齢者雇用事業として協議会を作り、「そうじゃ60歳からの人生設計所」という新しい、高齢者に特化した雇用のマッチングセンターを作った。それにより高齢者も仕事を探しやすくなり、シルバー人材センターに仕事が来すぎて断ることが増えたり、

数か月待ってもらったりという状況になったため、それを障がい者の方で担うという、ワークシェアのようなかたちになっており、競合するようなことはない。「そうじゃ60歳からの人生設計所」とは、高齢者雇用の状況とシルバー人材センターの状況などを共有できるようになっているので、うまく共存共栄できている。

質問:福祉王国プログラムについて、様々な部会が立ち上げられているが、これらの部会はどのようなかたちで作られるのか。また、庁内組織だけなのか、職員以外もメンバーに入っているのか。

回答:障がい者支援部会において、「就学前、就学児の支援も必要ではないか」という話になり、発達障がい児支援部会が立ち上がったたり、「子どもの虐待についても真剣に考えなくてはならない」ということで、子ども虐待ゼロ部会が立ち上がったたり、福祉王国プログラム内の話し合いの中で課題があがってくることで、部会の新しい設置につながっている。また、市長の発案により部会が立ち上がることもある。

部会は、それぞれの担当課がもつ既存の協議会等(障がい福祉でいえば自立支援協議会など)を中心とし、さらにそこから横展開が必要なところを交えて作られる。主には庁内組織だが、各所管の部署プラス、それぞれの協議会等の有識者のかたにもオブザーバーとして参加していただいている。各課が所管している協議会、委員会、そういったものを部会の中の組織として持っており、福祉王国プログラムの課題を諮問してもらうような形で作っている。

